



—湾岸・アラビア半島地域ニュース—

イラン経済 (12月16日～18日)

1. 韓国によるイラン産原油輸入量 (16日付テヘラン・タイムズ紙)

韓国関税庁が発表したデータによると、11月の韓国のイラン産原油輸入量は、前月比2.9%増の81万4,797トン(日量19万9,000バレル)となった。前年の120万トンから減少している。

2. ウエスト・エチレン・パイプライン試運転開始 (18日付イラン・デイリー紙)

イラン南部ブーシェフル州のアサルーイエと西部ケルマーンシャー州のプラスチック製造拠点を結ぶ、全長1,200kmのウエスト・エチレン・パイプラインの試運転を今月開始すると、イラン国営化学会社(NPC, National Petrochemical Company)の幹部が述べた。

3. 中国企業による石油プロジェクト契約不履行 (18日付ジョムフーリーイエ・エスラーミー紙)

イラン国内の多数の石油プロジェクトに関与している中国企業(投資総額500億米ドル超)が、イランへの「制裁」を最も科していることは明らかである。これら全てのプロジェクトの契約は(中国企業によって)十分に守られていない。現在、中国企業はサウスパールス・ガス田フェーズ11から撤退中である。

4. 輸入量減少と外貨不足 (16日付ジョムフーリーイエ・エスラーミー紙)

イラン輸入協会のバルホルダール会長は、イランにおける輸入量の減少について、為替センターでの外貨不足が原因と指摘し、輸入業者は両替商で市場レートの外貨を入手せざるを得なくなっていると述べた。「イランには十分な米ドル貨がないため、イラン中央銀行は他の外貨を使うよう輸入業者に促すべきだ」と付け加えた。

5. 不良債権問題に関する大統領発言 (16日付イラン学生通信)

アフマディーネジャード大統領は、「現在、イランの金融セクターにおける最大の問題は銀行部門の不良債権問題である。一方で、この国は約300人の個人が60%のイラン国内資産を有しているが、資金不足には陥っていない」と述べた。イランではこの3年間で、銀行部門からの借入額が383億米ドルから570億米ドルにまで膨れ上がっている。

6. 為替センターでの外貨取扱い開始（18日付ケイハーン紙）

17日より、英ポンド（=39,740 リヤル）、スイス・フラン（=26,740 リヤル）、スウェーデン・クローネ（=3,680 リヤル）、カタール・リヤル（=675 リヤル）が新たに為替センターで取扱いを開始した。日本円、ロシア・ルーブル、韓国ウォン、ユーロ、インド・ルピー、人民元、米ドルは既に取扱いを行っている。

7. 電力価格の値上げ提案（16日付ハムシャフリー紙）

エネルギー省は、来年度〔ヒジュラ太陽暦（イラン暦）1392年（2013年3月21日～2014年3月20日）〕予算において、電力価格を300%上昇させることを提案した。エネルギー省のベフザード次官は、現状の1kw/h当たり264リヤルでは採算が合わないとし、1kw/h当たり800リヤルまで単価を上げるべきだと述べている。

8. 価格決定の分担（17日付ドンヤーイエ・エグテサード紙）

政府の決定によると、これから3つの商品カテゴリーごとに価格決定権を有する組織が分かれる。公定レート（1米ドル=12,260リヤル）で輸入された基礎物資については消費者・生産者支援機構が担当し、公定レートで輸入された原材料は各担当組織によって価格決定が行われ、残りのカテゴリーは各州・行政地域ごとに行われる。この内容は各州に通達されている。

9. 自動車価格決定における混乱（17日付ドンヤーイエ・エグテサード紙）

度重なる自動車価格の上昇の中、未だに自動車の市場価格を決定する組織が定まっていない。鉱工業・商業大臣は消費者・生産者支援機構と最高競争評議会という2つの異なる組織に価格決定を依頼し、混乱が生じている。複数の自動車会社は、消費者・生産者支援機構にのみ価格値上げ申請を行ってきた。

◎本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 公益財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799